

- 1 日時 平成28年11月8日（火） 第1校時（8：50～9：40）
- 2 場所 1年6組 HR教室
- 3 学級 普通科 1年6組（男子22名、女子18名、計40名）
- 4 生徒観 対象生徒は1年生一般クラスであるが、半数以上の生徒は中学校のときから数学に苦手意識をもっている。しかし一方では、授業態度は総じて真面目で反応もよく、一生懸命取り組む姿がうかがえる。基礎学力の定着を優先しつつ、発展的な内容にも挑戦させたい。
- 5 使用教材 教科書：高等学校数学A（数研出版） 副教材：4プロセス数学I+A（数研出版）
補助プリント
- 6 単元名 第2章 図形の性質 第1節 平面図形
- 7 教材観 本時は平面図形における三角形の外心・内心を学習する。そのうえで、友達同士で教え理解し合うことを通して話し合うことの有用性を感じ、数学的な見方を身に付けさせたい。
- 8 単元の指導計画
- | | | |
|----------|-----------------|---------------|
| 第1節 平面図形 | 三角形の辺の比 | (1時間) |
| | 三角形の外心・内心・重心 | (2時間) (本時1/2) |
| | チェバの定理・メネラウスの定理 | (2時間) |
| | 円に内接する四角形 | (4時間) |
| | 円と直線 | (4時間) |
| | 2つの円 | (2時間) |
| | 作図 | (2時間) |

9 単元の評価規準

①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
平面図形の性質について関心を深め、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	平面図形において、事象を数学的に考察し、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面図形において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面図形における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

10 本時の目標

- ・ペアの生徒に対して、外心・内心の性質を説明できる。(①)
- ・ペアのアドバイスをもとに、問題を解くことができる。(②)

1 1 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導過程・留意点	評価
導入 5分	外心・内心の確認。		外心・内心の意味を確認させる。	
展開 40分	<p>外心・内心の性質を個人で考察する。</p> <p>外心・内心の性質を確認する。</p> <p>問題を解く。</p> <p>評価する。 結果発表</p> <p>まとめ</p>	<p>外心チーム 個人で外心の性質を見つける。</p> <p>内心チーム 個人で内心の性質を見つける。</p> <p>ペアで外心・内心の性質を教え合 いする。 共通点・相違点を見つける。</p> <p>外心チームは内心の問題, 内心チ ームは外心の問題を解く。</p> <p>ペアで答え合わせをする。</p> <p>前後の4人グループで, 答案を分析 する。</p> <p>ペアでお互いに評価し合う。 話し合うこと, 教え合うことの有用 性を知る。</p>	<p>性質を見つけ出せない生徒がい たら, 同じチームで教えあいをし たり, ヒントを与え必ず性質を見 つけ出せるよう指導する。</p> <p>互いに理解度を確認させる。</p> <p>共通点・相違点を見つけさせ る。</p> <p>間違えたところを互いに教え合 い, 理解し合う。</p> <p>間違いが多かった問題を確認し, できている生徒に前で発表させ る。</p> <p>チーム別に正答数を確認する。</p>	<p>①</p> <p>②</p>
まとめ 5分	振り返りを行う。 (補助プリント)			